

(9)

2005年(平成17年)12月14日(水曜日)

水中文化遺産条例制定に前向き

12月与那国町議会一般質問 海底遺跡の利活用で



大嵩長史氏



我那覇武氏

【与那国】開会中の十二月定例町議会(東浜功一議長)は十三日、一般質問初日を行い、大嵩長史氏(無)と我那覇武氏(無)の二人が登壇した。

その中で、大嵩氏は九月議会で当局が撤回した大型ホテルの町有地賃貸契約案について、進ちょく状況をたずねた。

これに対し外間守吉町長は「農除外や周辺住民への説明、土地利用計画の整備など条件整備が必要。今後、条件整備をきちんとした上で、議会と協議していきたい」と答え、再提案に時間がかかる見通しを示した。

質疑の中で我那覇氏は「海底遺跡」と呼ばれるダイビングスポットの利活用について、「与那国町水中文化遺産条例」の制定を求めた。

当局は「自然保護条例に基づいて、条例を制定できるか検討したい」と東浜安伸産業振興課長、

「行政側ともタイアップしながら、条例案について話し合っていきたい」と(田盛真吉教育長)と答弁した。

外間町長は「文化遺産として、町の財産として残していくことには慎重を期さないといけないが、条例案や海底遺跡について勉強しながら、前向きに検討していきたい」と述べた。

また、大嵩、我那覇両氏は祖納地区の農業集落排水事業について、住民説明会のあり方や最終処

分施設位置選定の過程について取り上げた。

譜久嶺弘幸まちづくり課長は「説明会は事業採択前と採択後に実施。防災無線で参加を呼びかけたが、参加者は少なかった。事業実施期間中、要望があれば、説明会を再度開催したい」と答えた。

また、最終処分施設の位置選定については「説明会来場者にアンケートを実施。個別アンケートも実施するとともに、他市町村の状況などを検討した結果、集落から百メートル離れた場所を選定した」と答弁した。

町議会質問要旨

我那覇武氏 国営かんがい排水事業(地下ダム計画)がボーリング調査が行われただけで、棚上げ状態になっている。

譜久嶺弘幸課長 ○四年三月から棚上げ状態になっている。継続を求め、今後の対応を推進協議会の役員会に諮りたい。

我那覇氏 サトウキビ対策班などを設置してキビの増産を図れないか。外間守吉町長 増産できない原因を突き止め、キビ一本にしほって論議すべきだ。対策班を立ち上げることも必要だと考えている。

我那覇氏 エヒ養殖場の実績は。東浜安伸課長 キロ単価が落ち込んでいるが、今年は生産量も前年を大幅に上回ると思う。数年内には赤字解消を見込んでいる。